

練馬区立開進第一中学校

# 開進一中だより

平成26年度 第8号 発行日：平成26年12月22日(月)

## 自己観照

校長 古山 真樹

間もなく2014年・平成26年も終わろうとしています。皆さんにとってこの一年はどんな年だったでしょうか。年末から年始のこの時期は、自分を振り返り、自分の将来について思いを巡らす時でもあります。自分を見つめることの大切さは何度か話していますが、日本の年末年始ほど静かに自分を振り返る機会はないでしょう。

まず年末。それぞれの家庭では、大掃除や片付けをして一年の汚れ（精神的な面も）を取り去り、きれいに新年を迎えます。そして大晦日。寺院では除夜の鐘を鳴らします。人間には百八の煩惱（人の心を惑わせたり悩ませ苦しめたりする心の働き）があり、それを祓う（払う）ために鳴らします。心の乱れや汚れを取り払い、真っ白な心で新年を迎えたいという願いが込められています。そして年始。初詣に出かけ今年一年の幸福を祈ります。このように年末年始は、自分を見つめ直し、よりよく生きようと気持ちを新たにすること大切な時とも言えるでしょう。

そこで、この時期になると毎年私の心に浮かぶ言葉が標題の「自己観照」です。この言葉は、一代で世界の松下電器（現在のパナソニック）を築き上げ、経営の神様と呼ばれ、多くの実業家から今なお尊敬されている松下幸之助氏が好んで使った言葉です。

松下氏は、自己観照を「自分の心をいったん外に出し、その出した心で自分を見直してみることである。」と言っています。つまり、あたかも他人に接するような態度で、客観的に自分を観察することだそうです。さらに「経営者というのは、自分の力とか適性が分からなければ、他社や人の言うこと、することが気になる。他社がいいところにビルを借りたり、たくさんの人を採用して成長したりしたら、それを真似て大失敗することがよく起こる。」と言っています。つまり、自分にどれほどの力があるのか、自分はどれほどのことができるのか、自分の適性は何か、自分の欠点はどうしたところにあるのかということがわからないと、人真似ばかりをして失敗するということです。これは経営の世界だけではなく人間の生き方すべてに当てはまります。

人間は、なかなか自分のことを正しく評価するのは難しいものです。自分はまだもっとできるはずだという願いや欲求があるからです。自分を欲目なしで見つめるのは難しく、返って他人の方がよくわかっていたりするものです。しかしながら、なかなか他人は正しく忠告をしてくれません。遠慮や争い事を起こさないための配慮です。大人になればますますそうなります。だからこそ、自分を正しく見つめる目を養うことが必要です。年末年始のこの時期、君たち中学生は謙虚に自分の努力や足りない点を反省し、より良い生き方の道筋を考える「自己観照」をしてください。それが人間としての成長につながります。

さて、保護者・地域の皆様、今年一年開進一中へのご支援・ご協力誠にありがとうございました。来年も変わらぬお力添えをお願いいたします。皆様よいお年をお迎えください。





4月8日

入学式

5月31日

運動会



6月11日

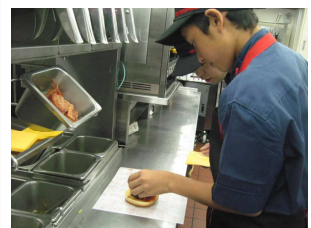
セーフティ教室

8月8日  
～10日  
1年 臨海学校



2014  
開進一中

～今年もいろいろな  
行事がありました～



10月2日  
・3日  
2年 職場体験



10月1日  
～3日  
3年 修学旅行



11月1日

文化発表会



～1月の主な予定～

- |               |           |       |          |
|---------------|-----------|-------|----------|
| 1月 8日(木)      | 授業開始      | 全校集会  |          |
| 10日(土)        | 第二土曜授業日   |       | 20日(火)   |
| 12日(月)        | 成人の日      |       | 22日(木)～  |
| 13日(火)～16日(金) | スキー教室(2年) |       | 26日(月)   |
| 19日(月)        | 全校朝礼      | 6時間授業 | 27日(火)   |
|               |           |       | 避難訓練     |
|               |           |       | 私立推薦入試   |
|               |           |       | 都立推薦入試   |
|               |           |       | 連合ダンス発表会 |